

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	診療事業		コード	担当課係	庶務係
			02-02-07-11	担当者	万波 文雄
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	0869-84-2120	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	病院事業			
	施策	吉永病院			

事業について	
目的	模範的な診療を行い、国民健康保険事業を円滑に実施するとともに、備前市における保健施設として公衆衛生・在宅福祉の向上及び増進に寄与する。
対象(誰のために)	備前市国民健康保険の被保険者及び健康保険、船員保険及び日雇労働者健康保険の被保険者及び同被扶養者、労働災害補償保険法及び老人保健法の規定により給付を受けるもの、生活保護法の規程により医療扶助を受ける者並びに法令により組織する共済組合の組合員及びその被扶養者並びに他の市町村国民健康保険の被扶養者等
内容	健康診断及び健康相談、療養の指導及び相談、診察、薬剤又は治療材料の投与及び支給、処置・手術及びその他の治療、病院への収容等の診療を行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
入院患者数	17,614 人		
外来患者数	101,487 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	872,048	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	569,170	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,441,218	一般財源等	1,441,218	合計	0	一般財源等	0

必要人員	76.60	人		人
結果指標①	結果指標名	入院患者数		
	結果指標量	17,614		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	555,945,853	円	円
	単当たりコスト①	31,563	円	円

結果指標②	結果指標名	外来患者数		
	結果指標量	101,487		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	859,060,319	円	円
	単当たりコスト②	8,465	円	円

事業の成果		
成果指標名	入院・外来患者延数の推移	式又は説明
		入院=50床×稼働率×診療日数 50×98%×365日 外来=外来患者数/1日×診療日数 300人×294日
	17年度	
成果指標量	入院=98.4 外来=115.2	
対前年比	—	
到達目標値	入院=17,900人 外来=88,062人	到達目標年度
		毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：備前市国民健康保険病院条例
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	コスト削減、接遇等改善の余地がまだある。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	17,885人	結果指標量②	103,124人
目標値	成果指標量		100.0

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	待ち時間の短縮	毎年	患者1人当たりのコスト削減
有効性	接遇	毎年	患者の満足度が向上する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。